

# 川勝県知事が間伐材とお茶に興味を

7/13

## 平成24年度移動知事室で来町し、杉山段と茶茗館を視察

知事は森林組合おおいがわ(山下喜隆組合長)管理のモデル林「杉山段」で利用間伐作業を視察しました。県内でも有数の森林面積を誇る本町。間伐材利用促進のため、鉄筋構造物に県産材を組み合わせる「鉄筋木造コンクリート」の施工技術を本県から発信することを提案しました。

茶茗館では、川根茶を飲みながら5人の生産者と歓談し、出されたお茶に感心していました。静岡はお茶の都、「茶都(ちやと)」であると述べ、その中でも川根本町は茶都の中の茶都。誇りを持ってくださいと激励しました。

※5人の生産者は相藤直紀さん、高田恵夫さん、土屋裕子さん、丹野浩之さん、大村美也子さん



7/14

# 祈りを込め、「平谷の流したい」奉納

## たいまつに氾濫なき大井川を祈願して・【町指定無形民俗文化財】



参加者全員で大井川が氾濫しないように祈願した

大井川が氾濫しないように祈願する瀬平地区の伝統行事で、毎年7月14日に奉納されています。当日は佐藤町長、杉山教育長をはじめ、瀬平地区の町民と中川根南部小学校児童の約80人が参加しました。

「たい」は、麦わらを編んだ土台の上に、青竹を組んで作った直径3mほどの台座。その上に青竹の先端を短冊状に裂いた、たいまつを立てます。子どもたちによる「ミニたい」とともに2基の「たい」は点火後、川に流され、参加者全員で今年の無災害を祈りました。

# 地域に貢献し、愛着を深める

7/27

## 中高一貫で「川根の郷美化作戦」を実施

地域の美化清掃活動を、川根地区3中学校(本川根中・中川根中・川根中)と川根高等学校が連携して、約480人が参加して行いました。

中学生と高校生が、親睦を深めて地域に貢献し、郷土愛を深める趣旨の取り組みで、平成14年から続けている夏休みの恒例行事。今年で11回目となります。

活動前日は、気温35.5度を記録した本町。熱中症に注意しながら、それぞれの出身地域に分かれて、駅や公園などでごみ拾いや草刈りに汗を流していました。



草刈りに汗を流す生徒(写真は久野脇グラウンド)

## 県茶品評会で丹野浩之さん最高賞！

8/6

川根茶は普通煎茶で見事「産地賞」を獲得しました

第51回県茶品評会(J A静岡経済連、県茶業会議所主催)の審査結果が発表され、普通煎茶の部、最高賞の1等1席に丹野浩之さん(水川区)が輝きました。また、川根茶は上位入賞者3人の合計点数が高い産地に贈られる、産地賞を獲得しました。

受賞を受け丹野さんは「お茶に取り組む気持ちはみんな同じ。チーム川根本町で一丸となった結果が賞につながった。関係するすべての皆さまに感謝したい」と喜びで声を弾ませました。

【2等】▷土屋鉄郎さん(水川区)▷川崎好和さん(藤川区)▷田野口第一製茶組合(田野口区)



受賞報告に訪れた丹野さん㊦と小坂副町長㊧(8/6現在、町長職務代理者)

8/15

## 地域防災の担い手を目指して

北分遣所で、中川根中2年生が消防士さながらに職場体験



最初は防火服装着にてこずるも3回目には上達

中川根中学校が行う、2年生を対象とした職場体験学習の一環として、島田市消防本部の金谷消防署川根北分遣所で体験学習が行われました。

参加したのは、和田新さん(田野口区)と藤田丞さん(地名区)。火災を想定し、▷出勤指令書受理、▷地図で現地確認、▷防火服着装、▷消防車乗車、までの一連動作などを実際に体験。生徒は大きな声で「よしっ！」と確認しながら消防・救急・救助のすべてを2日間で体験しました。

生徒は「地域を守る大切さや大変さが分かった」と話し、真剣な表情で取り組んでいました。

## まちを元気に！ やっちゃん祭

8/13

町民主体による地域活性化イベント、東北の被災地も応援

今年で6回目となる恒例の夏祭り。雨のため、山村開発センター体育館でステージイベントのみの開催でしたが、心待ちにしていた100人を超す町民でにぎわいました。

勇壮な赤石太鼓の演奏や書道家大石宏さん(千頭東区)による書道パフォーマンス、フリーバスケット、ジャグリングなどを楽しみました。

大石さんは「前向きに進む」という漫画家の言葉を、東北の被災地や町民に向け、心を込めて大書。来場者からは大きな拍手と歓声が送られ、会場は熱気に包まれていました。



大石さんは「前に」人は希望があるから前に進むんじゃない 希望を探そうという意味で前に進むんだ」と大書